

BUSINESS PERSON

シリーズ 37

—話題の企業人を追って—

全国の同業他社も視察に訪れる人材教育を実践

「笑顔」と「思いやりの心」で

最高のサービスを提供する外壁塗装会社

「お客様の想像を超えたところに感動が生まれる」。取材中に何度も繰り返された言葉である。ホテルや飲食店といったサービス業ではない。発信者は外壁塗装業の若きリーダー、中島佳住真氏。「笑顔」と「思いやりの心」をモットーに飛躍を遂げるきらめきペイント株式会社をレポートする。

同社の設立は2011年11月。まだ3期目に入ったばかりの若い会社にもかかわらず、現状40件の施工待ちを抱え、超多

忙な日々を送っている。なぜこのような躍進を続けられるのか？そのヒントは中島氏自身のストーリーに隠されていた。

父親が経営する塗装会社に入社した中島氏であったが、仕事を覚えていくにつれ、ある疑問が頭をよぎるようになった。「もっと手間をかけられるのではないかと喜んでいただけではいけないか？」。昼休みには仕事に含まれていない表札の塗装を行った。休日には手製のチラシを配って歩いた。全ては「お客様に感動してもらいたい」「その感動を多くの人に届けたい」がため。しかし、下請けメインの仕事では予算も限られており、周囲は中島氏の創意工夫を快く思わない。夢を実現するため独立に躊躇はなかった。

「初受注の現場が忘れられませんが。私がこれまでの人生で大切にしてきた『笑顔』と『思いやりの心』で懸命に仕事に取り組み、近隣へのご挨拶をしっかりとさせていたところ、お隣



中島氏の子息をモチーフにした「きらめき君」と「きらりんちゃん」



定期的に行われる社内会議で最高のチームワークを培う

様からもご発注をいただいたのです。さらにその方は4件もご紹介してくださりました」

その後、同社の誠実な仕事ぶりが評判を呼び、引き合いが相次いだことは言うまでもない。

塗装業界の未来を担い 目指すは全国展開

「お客様に最高のサービスを提供する上で最も大切に行っていることが『人間力』です。当社ではお客様の立場に立って物事を考え、仲間を思いやり、そして素敵な笑顔、綺麗な身だしなみ、マナーにもこだわりを持っています」

社員教育を徹底して行う同社の噂は瞬く間に広がり、東京や広島からも同業の経営者が視察に訪れるようになった。一同が驚いたのは「技術スタッフ

が営業社員のような笑顔と清潔感を併せ持っていること」。他社がうらやむ人材揃いというわけだ。

もちろんマンパワーだけが魅力の会社ではない。どこよりも塗装が長持ちする耐久性にこだわり、仕上がりは新品のように美しく塗装する「技術力」にも定評がある。昨年8月、大阪府から経営革新の承認を受けた「多彩色分け工法」は、きめ細かさや忍耐力が求められる新工法で、同社の高いスキルを裏付ける格好の事例となった。

顧客の要望に応えるため「屋根工事部・防水工事部」を発足、今年春には2号店がオープン予定というきらめきペイント。「5年以内に全国展開」(中島氏)という目標は、もっと近い将来に実現できそうな勢いだ。



きらめきペイント(株)代表取締役社長

中島佳住真